

# 第29回 ふくやま 箏曲大演奏会

## ゲスト



### 菊重精峰 (箏・三絃・作曲演奏家)

KIKUSHIGE SEIHO

1986年3月大阪音楽大学卒業。故菊原初子師に師事。没後、菊原光治師に師事。上方の胡弓を故菊津木昭師に師事。野川流三味線本手組歌及び古生田流箏組歌全曲習得両巻を初子師より伝授。

2002年文化庁舞台芸術創作奨励第5回国立劇場作曲コンクール入選。2019年開軒35周年芸歴50周年記念の会を、峰の会第10回目に併せて開催。

2021年第10回中島勝祐創作賞受賞。

箏・三絃・尺八普及の為、公刊楽譜を家庭音楽会より多数出版し自作品CDをリリース。

大阪音楽大学邦楽講師。公益社団法人当道音楽会副理事長。現代邦楽作曲家連盟所属。関西邦楽作曲家協会副会長。八尾市三曲協会副会長。琴友会所属。峰の会主宰。菊重精峰合奏団 令和美麗に編団長。

## 曲目紹介 (出演順)

### 筑紫ひなづる会

「誓星」 菊重精峰 作曲

講習会で呉を訪れた時、海事歴史科学館や戦没者の慰霊碑などを案内していただきました。

その折、海事歴史科学館で開催していたプラネタリウムは、戦艦大和にまつわる星の物語でした。

ゼロ戦や人間魚雷などで、多くの人達の命を犠牲にした戦争というものを私の心の中に刻み、決して二度とこの様な事を起こしてはならないと私自身、夜空にきらめく星に誓い曲に託しました。

### 府中市邦楽連盟

「遠砧」 宮城道雄 作曲

風のまにまに聞こえる砧が遠くなり、近くなり、錯綜する面白味が箏・三絃・尺八の合奏によって表現されています。

### 筑紫華朋会

「南風」 坂本一郎 作曲

暖かい国の情緒をテーマにしています。

のんびりしたムードの中にも情熱的な一面をときおりのぞかせるなど、南国情緒をいろいろな形で謳っています。

### 都山流竹友会／琴古流尺八福山緑会・鈴慕会

尺八二重奏曲「二つの田植唄によるヴァリエーション」  
山川園松 作曲

旋律豊かな二つの民謡を素材として描き出された、ロマンティックな田園風景詩です。

高低二管による重奏曲ですが、尺八の本来の音色の中でも雑音的要素は一切使われておらず、作曲者の豊かで叙情的な旋律性が、のびのびと繰り広げられた作品です。

第一楽章は福島県浜通り地方の美しい追分風の田園唄を、第三楽章は山形県東村山地方の田植唄の曲が使われています。

### リーデンローズ〈箏〉アンサンブル

「さらし風手事」 宮城道雄 作曲・牧野由多可 編曲

宮城道雄作曲の「さらし風手事」は、高音と低音に調弦された二面の箏のための二重奏曲ですが、この曲はそれに十七絃と三絃を加え、大合奏用に編曲されたものです。

原曲のイメージを大切に、箏二面で演奏する曲をより大きく華やかにする方向で作られています。

### 筑紫若菜会

「虫の声々」 筑紫歌都子 作曲

この曲は、秋の夜長を賑やかに奏でる虫の声を表したもので、一匹の虫からだんだん合唱になって、こぼろぎ、くつわ虫等のたくさんさんの声を表しています。

### ゲスト／菊重精峰

「残月」 峰崎勾当 作曲

作者峰崎勾当の門下生である大阪宗右衛門松屋某の息女が、若くしてこの世を去られた追善曲として作曲。

法名の「残月信女」に因んで『残月』と名付けられたと言われております。

本日は三絃独奏による演奏で聴いていただきます。

### 社中代表者合同演奏

「菊花繚乱」 菊重精峰 作曲

「合わせ爪」(シャン)「割り爪」(シャシャテン)「掛け爪」(カラカラテン)など、昔からある独特な奏法を少し取り入れ、自然におぼえていただくという意図で作りました。

弱押し(半音押し)を多用し、いろんな菊の花が美しく咲き誇る様を描いています。